

国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

学生納付特例制度により、平成31年度（令和元年度）に保険料納付を猶予されている方で、令和2年度も引き続き、在学予定の方へ、3月末に基礎年金番号等が印字されたハガキ形式の学生納付特例申請書を送付します。

同一の学校に在学されている方は、このハガキに必要事項を記入していただくことにより、令和2年度の申請ができます。（この場合、在学証明または学生証の写しの添付は不要です）

なお、令和2年度は学生納付特例制度を利用せず、保険料の納付をご希望の場合は、納付書を作成して送付します。お手数をおかけしますが、函館年金事務所までお問い合わせください。

国保病院のお医者さん

『ピンピンコロリは理想の死に方？』
木古内町国保病院 内科医 吉田 優一

病気の人に関わる仕事なので、残念ですが死に際に立ち会うこともあります。巷ではピンピンコロリ（以後ピンコロに略）が理想の死のように言われ、少なくない人がそれを目指して日々努力をされているように見えます。しかし実際にピンコロと言える亡くなり方は滅多にお見かけしない出来事でありませ

ず。ピンコロとは、「病気に苦しむことなく、元気に長生きし、最後は寝付かずにコロリと死ぬこと、または、そのように死のう」（出典Wikipedia）ということのようですが、そのような死に方がよい死に方かどうかは悩ましいことに私は感じます。本人にとっては苦痛は少なく短い去り際となるのでそれはそれで良いのかもしれません、本人がその去り際を予知することは不可能であり突然やってくるものです。またご家族・友人・ご近所さんにとっては唐突なお別れであり、昨日まで元気だった人が・・・と少なからずの動揺と後悔を感じることになりましょう。

また運よく？ピンコロのチャンスが巡ってきてても周りの人は突然の出来事でびっくりして救急車を呼ぶことが多いことでしょう。ピンコロのチャンス？が本当にピンコロへの入り口なのかあるいは本来は治るべき病気の入り口なのかは誰にもわかりません。病院にすればきっと皆で処置が開始されることでしょう。ピンコロとはそれほど不確定で予測不可能な出来事なのです。一般的に日本の高齢者の死に際は、「病気・ボケ・寝たきり」になって死ぬことが多いです。ピンコロは類いまれな運に恵まれた人に訪れる幸運？であり、それは努力や才能で掴みとれるものではありません。健康な人でなくとも突然死という切り口で言えばそこそこ不摂生の人の方がなりやすい要素もありそうな気がします。

ですから、お年頃の方には普段の楽しみを我慢してピンコロを期待するよりは、1日1日を楽しく有意義に過ごし、心の健康を重視して生きてもらいたいと思っています。